

「交流軸は栄える」

放射線技術学科 教授 片渕哲朗



先日ある本を読んでいると、「なぜ京都は千年以上にわたって都であったのか」を地理的条件から推察していました。私は天皇が居りその住居である御所があったからだと思っていましたが、どうもそうではないらしいのです。

御所があったから都になったのではなく、日本の都であったから御所は京都にあったと解釈の方が合点がいくと言うのです。古代から繁栄する都市は人の交流が盛んであり、交流するためには辺境の地より地理的に中央が望ましいと言われていました。

この観点から考えると、日本列島は細長く北海道から九州まで3000kmほどあり、列島の真ん中には大きな山脈が存在し、太平洋と日本海を隔てています。この南北に長い列島を治め国家を形成するための都をどこにするかとなれば、やはりその中央あたりが望ましいと考えられます。日本列島の地理的中心は中部地方と近畿地方の境界であり、福井県の敦賀湾から愛知県知多半島の伊勢湾を結ぶ線になります。

古来より大陸との交流は、日本海側が主流であり船による交通が盛んでありました。船で日本海側から太平洋側に抜けるには、若狭から少し歩いたら琵琶湖に通じ、そのまま淀川を下っていけば大阪湾を経て瀬戸内海に出ることのできるルートが最も適していたのです。京都は日本海側と太平洋側の各地に船で行き交うことのできる交通の要所でもあったのです。歴史にifはありませんが、もし琵琶湖から伊勢湾に流れる河川があったとしたなら、都は岐阜か名古屋になっていたかもしれません。

人が交流するようになれば道路も整備され、物資もダイナミックに動き出します。京都がなぜ都であったのか、その理由は御所の存在ではなく日本列島における地理的な交流軸にあったからだといえます。現代で考えればまさしく東京がその交流軸にあたります。地理的には少し東に偏っていますが、高速道路、新幹線、飛行機などの交通網は東京が中心となって整備されています。東京は天皇や首相が居ているからでもなく、交流軸の線上にあるため栄えているのです。この交流軸で大事なことは、交通や物流だけではなく情報を運ぶシステムでもある点なのです。情報は目に見える文字や画像のデータに限らず知識、知見など目に見えないものも含まれます。つまり、人間そのものが情報の集合体であり、人が往来する交流軸は情報が行き交う場所であり、この交流軸上に国の都が創出され繁栄していくのです。

あの大震災以降に東京遷都がいろいろ騒がれていますが、遷都できない理由はこの交流軸が動かないからです。首都の行政機関だけ移しても人が多く集まらないので、情報の交流が少なく栄えることができないのです。そこで本学においても4学科となり、多くの教員が集まってきました。その人的資源を背景に人との交流を促し、医療における交流軸となって外部に向かって発信していくことを期待しています。

おすすめ図書



『視力を失わないために今すぐできること』

深作秀春：著

配架場所
496||Fu

放射線技術学科

小野木 満照



リンダ・グラットンとアンドリュー・スコット共著「LIFE SHIFT 100年時代の人生戦略」で提唱された言葉、「人生100年時代」にはちょっとビックリしました。100歳で天寿が全うできたとしても、筋力、声量、記憶力などが持続可能なのか疑問でした。案の定、目の寿命は60-70年と短命ゆえにこの寿命を延ばす必要がありますが、本書は寿命を延ばす工夫がてんこ盛り。

第1章は目と視力の基礎知識が入門的に記されています。目の不調はQOL（Quality of Life: 生活の質）を低調にするため、目の異常の原因やセルフチェック法をしっかりと学びましょう。

第2章は、目に負担が掛からない生活習慣を紹介しています。食事・食材・調味料や休息・運動やツボの効果など全てをやり遂げることがベストなのですが、その中の一部の取組であっても目の健康が維持されます。是非お試しあれ。第3章は誰もが見聞する疾患の病因と治療法を解説しています。筆者は特に、緑内障や白内障に功績のある方ですから、同章の約半分はこれらの疾患に割り当て、詳細に綴られています。

本書は一般の読者に受け入れ易い1冊であるとともに、国家試験合格を目指す学生の皆さんにも寄り添った1冊です。眼光紙背に徹するつもりで読んでください。また、学生選書として、関キャンパス図書館に配架されていますので、是非ご一読ください。目から鱗が落ちること間違いありません。



『波の音が消えるまで』

沢木耕太郎：著

配架場所
913.6||Sa

入試広報課

高橋 大輔



松尾芭蕉、種田山頭火を「旅の師」と仰ぐ、文学派バックパッカー。そんな僕のお勧めはこの1冊。角田光代、開高健、永井荷風など旅心をくすぐってくれる作家は多くいるが、やっぱりこの作家を置いては語れない。バックパッカーのバイブルともいえる「深夜特急」で有名な沢木耕太郎氏。沢木氏は本著以外にも、旅に関する本を数多く執筆しておりどれも魅力的。

夢をあきらめかけていた青年があてもなく流れ着いたマカオで、出会った人達と数奇な運命を辿る。バカラという勝負事に会い、のめりこんでいく主人公だが、それ以上にそこで出会う人達と過ごす濃密な時間により、人として成長を遂げていく。

旅での出会いは「一期一会」。

この本を読むとその大切さに改めて気付かされる。

バルセロナの地下鉄でジプシーに身ぐるみはがされた時に助けてくれた宿屋の主人、モロッコのメルズーガでフンコロガシと遊びながら、サハラ砂漠の真ん中で野宿した仲間、ミャンマーのインレー湖のほとりで出会い、その後3日間安酒を飲みながら笑い合った友。どれを思い出しても一級品の思い出だ。

さあ！世界は広いよ！

大きな夢と希望と小説を、小さなリュックサックに詰め込んで旅に出よう！！

図書館のお知らせ

新入生や、あまり図書館になじみのない人にも 知ってもらいたい図書館のサービスをご紹介します！

🌸 読みたい本のリクエストができます！

専門書でも一般書でも、読みたい本の購入リクエストを受け付けています。
(本学の学生・教職員対象)

購入の際に、条件や制限はありますが、リクエストは大歓迎！

選書の今後の指針にもなりますので、是非リクエストしてみてくださいね。

リクエスト用紙は各キャンパス図書館のカウンター付近に用意してあります。

🌸 個人の持ち込みパソコン専用の席をご用意！

図書館で持ち込みノートパソコンを使うメリット

- ① 図書館の資料を使いながら、作業ができる！
- ② 充電しながら作業ができる！
- ③ 静かな環境なので勉強や作業がはかどる！

🌸 本の延長貸出しができます！

この本、もうちょっと借りて読みたいけど返却期限が近付いている。

そんな時は、1回だけ延長貸出しができますよ！

ただし、借りている本の中に延滞中の図書が1冊もないことが条件です。

ほかの人の予約が入っていない場合に限りです。

企画展示コーナーの紹介

関キャンパス図書館

現在、出会いと別れの季節に送る「新生活応援特集!」を開催中！

新しい生活を送るために。新しい自分と出会いたい人のために。
そんなあなたを応援するための実生活で使える素敵な図書・DVDを
たくさんご用意しました☆

新しい一歩に、勇気を与えてくれる作品や本に出会えるかも!?
全て借りることができますよ。ぜひ、手に取ってご覧ください！

可児キャンパス図書館

現在の企画展示は「大学“新生活”応援フェア」です。

この春、新しいことを始めてみたい、あなたへ。
大学での学びのヒントになるような教養本から、一人暮らしやおうち時間に
チャレンジしたいレシピ本、ファッションや美容・趣味の本など、
手に取りやすい本を揃えましたので、ぜひ読みに来てください！

図書館利用案内

1. 開館時間

[通常開館]

・関キャンパス/可児キャンパス 月～金 9:10～19:00

[短縮開館（長期休暇期間中など）]

・関キャンパス/可児キャンパス 月～金 9:10～16:30

2. 休館日

・土曜日、日曜日 ・国民の祝日 ・全学一斉休暇期間
 ・本学行事日 ・図書館整理期間 ・図書館長が臨時に決めた時

3. 貸出冊数・期間

資料種類	対象者	利用数	貸出期間
図 書	教職員	5冊以内	3週間
	大学院生	5冊以内	3週間
	学生	5冊以内	2週間
	聴講生	5冊以内	2週間
	学外者	2冊以内	2週間
視聴覚資料	学外者	不可	不可
	その他	2点以内	3日間

図書館開館カレンダー（両キャンパス共通）

★図書館通信発行時の予定です。開館時間等、急遽変更になる可能性があります。
 来館前に、図書館ホームページのカレンダーもご確認ください。

◆ 2022年4月

日	月	火	水	木	金	土
					1 13:00～ 16:30	2 休館
3 休館	4 9:10～ 16:30	5 9:10～ 16:30	6 9:10～ 16:30	7 9:10～ 19:00	8 9:10～ 19:00	9 休館
10 休館	11 9:10～ 19:00	12 9:10～ 19:00	13 9:10～ 19:00	14 9:10～ 19:00	15 9:10～ 19:00	16 休館
17 休館	18 9:10～ 19:00	19 9:10～ 19:00	20 9:10～ 19:00	21 9:10～ 19:00	22 9:10～ 19:00	23 休館
24 休館	25 9:10～ 19:00	26 9:10～ 16:00	27 9:10～ 19:00	28 9:10～ 19:00	29 休館	30 休館

◆ 2022年5月

日	月	火	水	木	金	土
1 休館	2 9:10～ 19:00	3 休館	4 休館	5 休館	6 9:10～ 19:00	7 休館
8 休館	9 9:10～ 19:00	10 9:10～ 19:00	11 9:10～ 19:00	12 9:10～ 19:00	13 9:10～ 19:00	14 休館
15 休館	16 9:10～ 19:00	17 9:10～ 19:00	18 9:10～ 19:00	19 9:10～ 19:00	20 9:10～ 19:00	21 休館
22 休館	23 9:10～ 19:00	24 9:10～ 19:00	25 9:10～ 19:00	26 9:10～ 19:00	27 9:10～ 19:00	28 休館
29 休館	30 9:10～ 19:00	31 9:10～ 19:00				

※入学式(4/6)まで短縮開館

4月以降の学外の方の利用について…感染症拡大防止のため、短時間の利用に限らせていただきます。(貸出・返却のみ/閲覧席の利用は不可)